

## ■フランス：フランス最大の太陽光発電所（11.5万kW）、ロレーヌ地方で運開

フランス電力会社（EDF）の子会社で再エネ発電事業を手掛ける EDF EN は 2012 年 11 月 13 日、フランス北東部ロレーヌ地方ムルト・エ・モーゼル県で同国最大のトゥール・ロジエール太陽光発電所（11.5 万 kW）が運開したと発表した。発電所は 22 年間の契約で借りた NATO 軍の空軍キャンプ跡地（415ha）にファーストソーラー社製の薄膜ソーラーパネル約 140 万枚を使って建設された。着工は 2009 年で、総投資額 4 億 3,000 万ユーロをかけた建設作業は 170 棟の建物のアスベストや燃料タンクの撤去、8,000 トンの汚染土壌の処理などの除染作業を行いながら進められた。同発電所はすでに 2012 年 5 月から段階的に運転を開始しているが、最終的に完成したことにより、人口 60 万人規模の都市の年間電力消費量を賄うことが可能となる。EDF EN は同発電所の他に、今年 6 月にはマサンジ（ブルゴーニュ地方、5.6 万 kW）、9 月にはクリュセ（サントル地方、6 万 kW）の両太陽光発電所を再開発プロジェクトの形で運開させている。